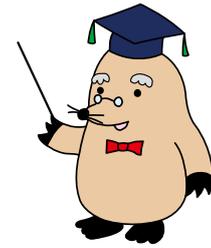


小牧南遺跡 第3次 (No.7)

発掘調査の成果

平成27年6月から進めてきた小牧南遺跡の発掘調査が終了しました。今回の調査に際しまして、地域の皆様をはじめ、多くの方にご協力をいただき、ありがとうございました。

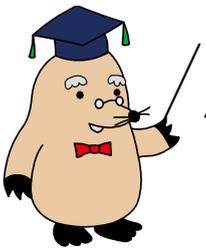


モグ博士 アーリーちゃん

平成25年度の第2次調査に引き続き、今回の調査もたくさんの遺構・遺物が発見されたのじゃ。右の全景がそれを物語っているじゃろう。



調査区全景(南東から)



それでは、今回の調査の成果を、各時代ごとにお伝えしていこう。

◎縄文時代中期(約 4,000 年前)

- たてあなじゅうきょ
・ 竪穴住居 4 棟
- ほったてばしらたてもの
・ 掘立柱建物 3 棟
- いしがこいろ
・ 石囲炉 1 基
- せっき
・ 石器類…多数
- うめがめろ
・ 埋甕炉 1 基
- どき
・ 土器片…多数

◎弥生時代末期～古墳時代初頭 (約 1,700 年前)

- たてあなじゅうきょ
・ 竪穴住居 21 棟
- としいし
・ 土器…多数
- ・ 砥石…多数

◎鎌倉時代後期(約 700 年前)

- かそうぼ
・ 火葬墓 2 基
- むゆうとうきさら
・ 無釉陶器皿

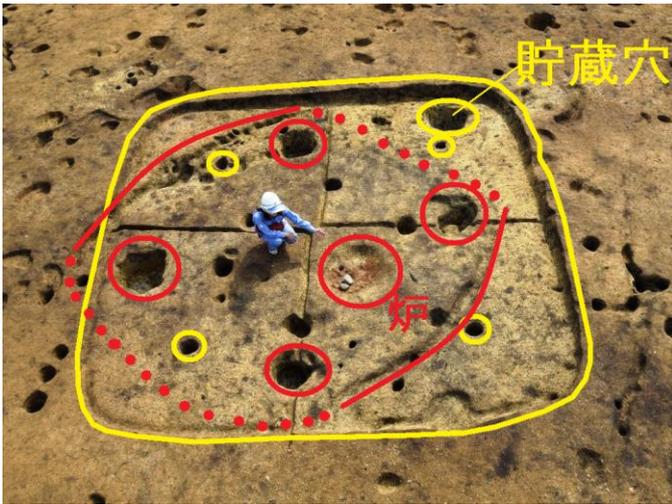
縄文中期の建物の数は、第2次調査と合わせると竪穴住居 11 棟、掘立柱建物 8 棟で、縄文中期の例としては県内最多になるのね!



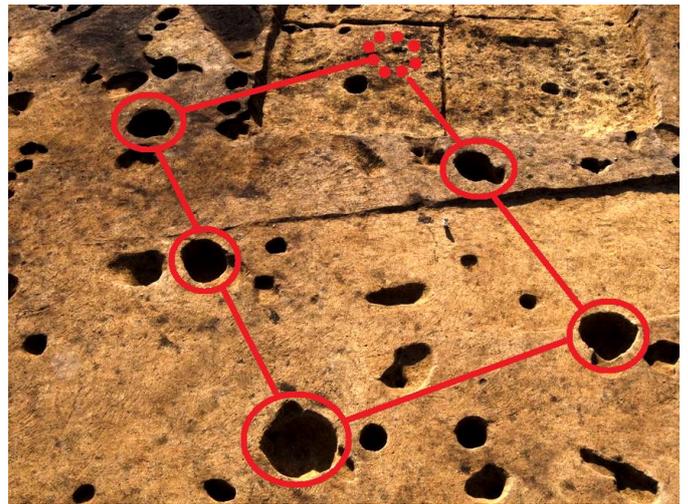
弥生時代末期～古墳時代初頭の竪穴住居の数は、第2次調査と合わせると66棟にもなるのじゃ。この時期はいわゆる「邪馬台国」の時期と重なっており、当時のこの地域の様子を知る上で重要になってくるのじゃ。



「重なって見つかった竪穴住居」
縄文時代中期(赤)と弥生時代末期(黄)



「掘立柱建物」
縄文時代中期, 規模は 3.2m×5.2m



「竪穴住居の床下に残っていた掘削道具の痕跡」
弥生時代末期



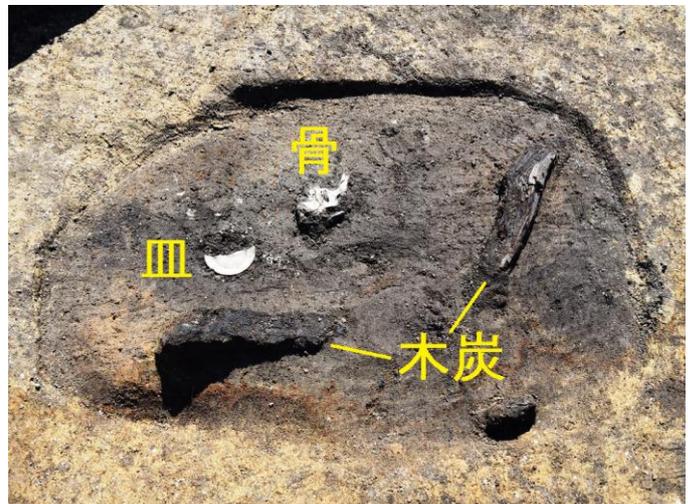
「ほぼ完全な形の石囲炉」
縄文時代中期



「落とし穴」
縄文時代中期, 1m以上の深さがある



「火葬墓」
鎌倉時代後期, 幅は約1m



「打製石器」 縄文時代中期
左は石鏃、右は搔器



「磨製石斧と剥片」 縄文時代中期
左と中央は磨製石斧、右は剥片



「縄文土器」 縄文時代中期



「弥生時代末期～古墳時代初頭の土器」



「砥石」 弥生時代末期～古墳時代初頭



「無釉陶器皿」 鎌倉時代後期



【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1
電話番号:059-363-3195/ファックス:059-363-3196
E-mail: maibun@pref.mie.jp